

ITARDA INFORMATION

交通事故分析レポート

No.99

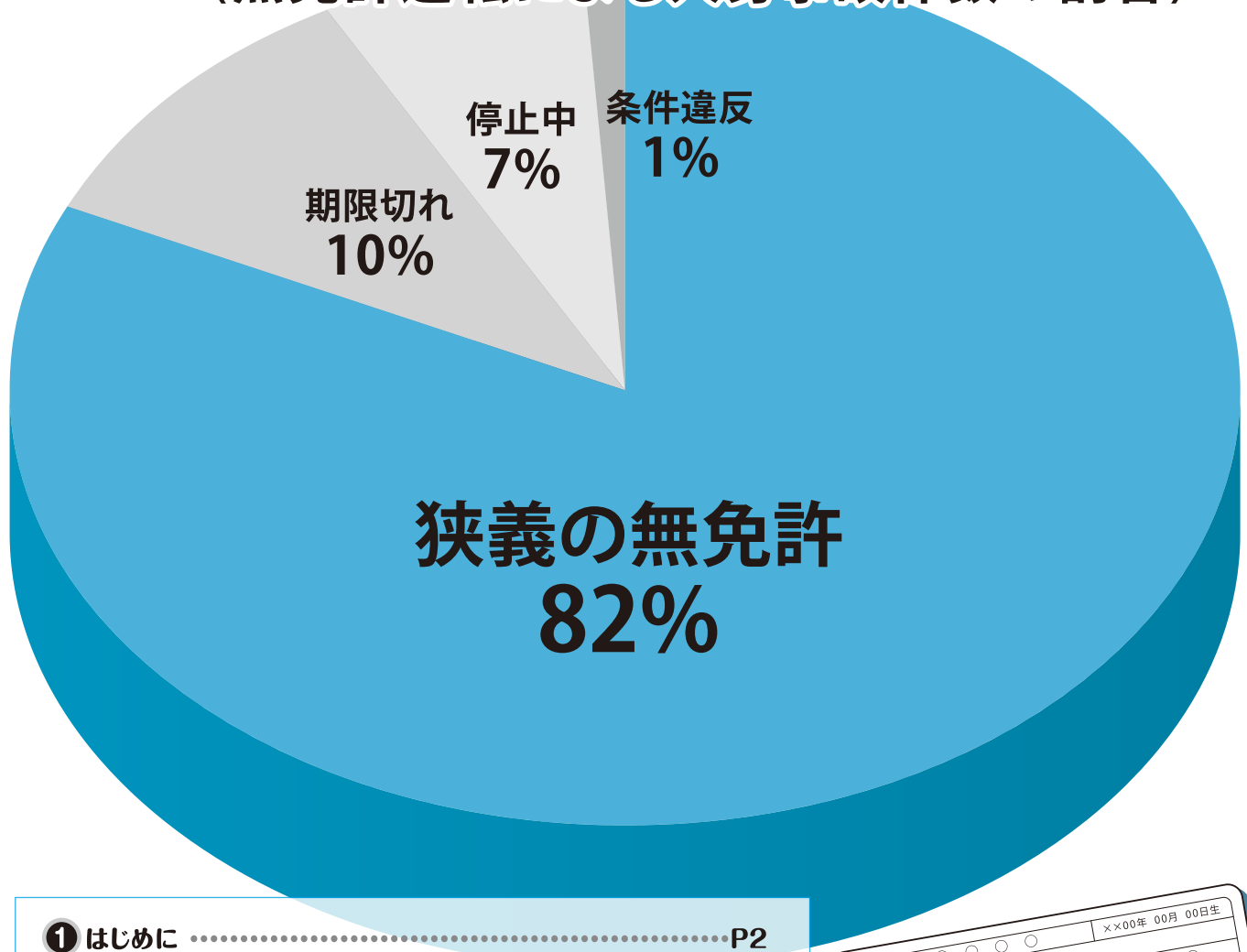
特集

無くそう無免許運転による事故

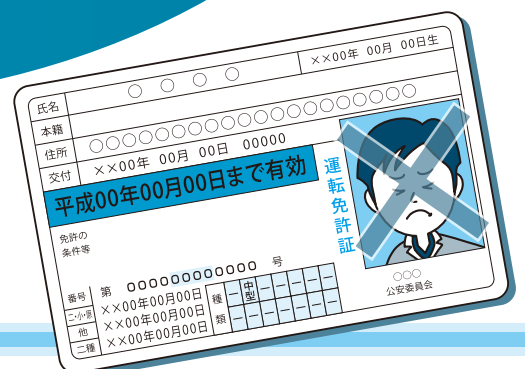
～無免許運転を絶対にしない、させない環境づくり～

H19～23年 無免許事故14,816件

〈無免許運転による人身事故件数の割合〉



- ① はじめに P2
- ② 無免許運転の特徴 P2
- ③ 無免許運転は、重大事故になり易い。..... P4
- ④ 無免許運転をする人は、危ない運転をしている。..... P6
- ⑤ 無免許運転をする人は一般的に、交通モラルが低い。..... P7
- ⑥ まとめ P8



1 はじめに

無免許運転による事故は年々減少しているものの、悪質危険な無免許運転による事故は後を絶ちません。この無免許運転の問題点として、

- ・「運転する資格が無いだけであって、危険な行為ではない」と思っている。
- ・運転技能が劣る。更新時の適性検査を受けていない。
- ・無免許運転の発覚を恐れて、事故後に適切な措置をとらずに逃げってしまう割合が高い。

が挙げられます。この他にも「無免許運転で車を運転する段階で既に交通ルールを安易に考え、守ろうとする意識が低い。」ことが重大な結果を引き起こし易いということも大きな問題です。

今回は、無免許運転による事故の特徴、危険性等を理解して頂き、「無免許運転を絶対にしない、させない」環境づくりの参考にして頂ければと思います。

■統計上の「無免許等」の意味

広義の無免許運転、即ち交通統計上の「無免許等」は、下記のアからエに分類されます。その分類別に交通人身事故件数の構成比(平成19年から23年までの5年間)を表紙の図に示しました。今回のイタルデザインフォーメーションでは、これらの事故を「無免許事故」として分析します。

(この5年間の有効免許運転者による事故:n=3,535,830)(図2以降も同じ条件を使用します。)

ア 狭義の無免許

有効な運転免許を有していない者で、下記のイ、ウ、エに該当しないもの。

イ 停止中

運転免許の効力が停止処分中の者。

ウ 期限切れ

運転免許の更新を受けなかったためその効力が停止した者で、失効した日から6ヶ月以内のもの。

エ 条件違反

各免許にかかるAT条件等の条件に違反した者。

2 無免許運転の特徴

■無免許事故の推移

表1、図1に示すとおり、無免許事故件数は、平成14年から23年まで年々下がってきています。ただし、無免許と飲酒事故件数の減少率を比較してみると、飲酒事故件数は、取締り基準や罰則の強化などが行われた影響もあり、平成23年は14年比で約75%減少したのに対し、無免許事故件数は約54%減と、減少幅が小さいことが分かります。

この減少幅の差については、一つの要因として無免許運転をそれ程危険なものとは思わず、安易に考えていることが挙げられます。しかし、無免許運転は、飲酒運転と同様に重大事故になり易い危険な行為です。この危険性について、次章以降で分析結果を紹介します。

表1 無免許事故件数の推移

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
軽傷	4,437	4,397	4,238	3,875	3,516	2,960	2,527	2,312	2,205	2,130
重傷	1,017	875	804	684	645	547	482	479	402	392
死亡	202	181	156	148	108	87	94	71	63	65
合計	5,656	5,453	5,198	4,707	4,269	3,594	3,103	2,862	2,670	2,587

* 飲酒事故:酒酔い、酒気帯び、基準値以下(飲酒しているが、時間経過に伴い検知できなかったものを含む)の者が起こした事故

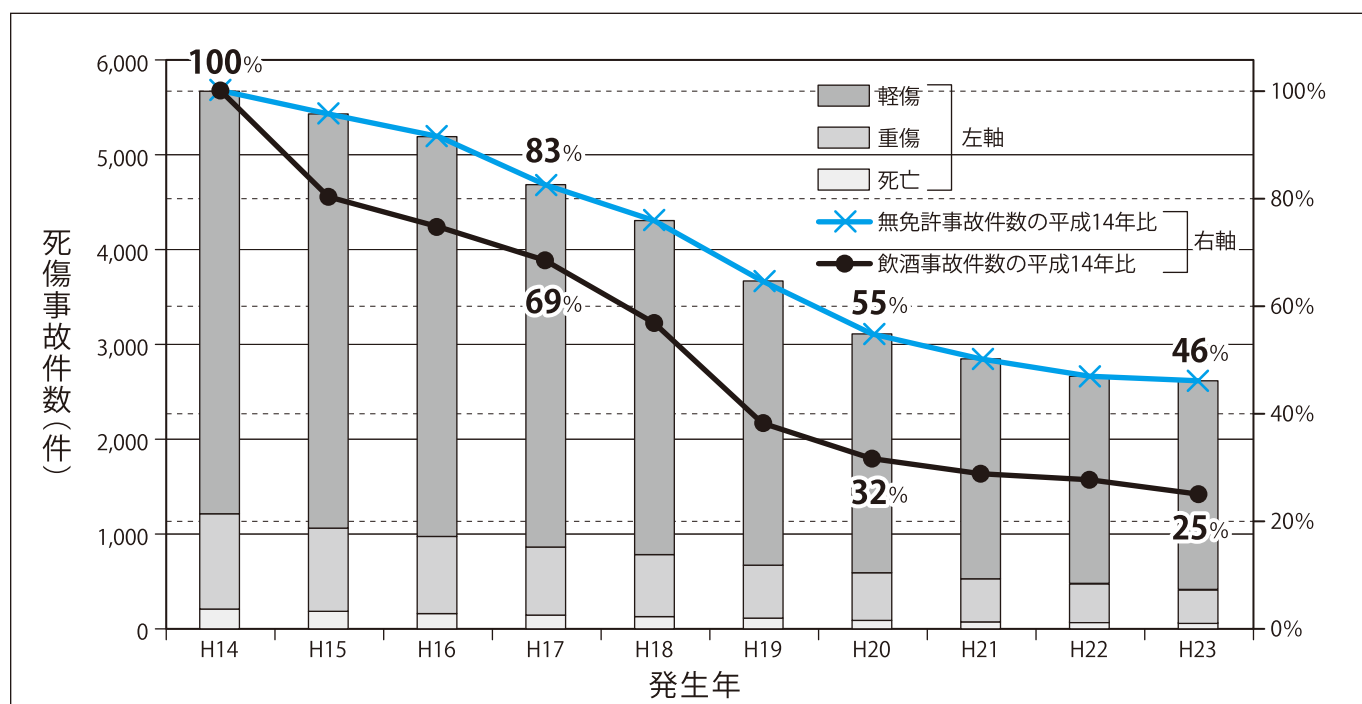


図1 無免許事故件数の推移

■無免許事故の発生時間帯

図2に、無免許事故発生時間帯の割合を示します。有効免許運転者による事故と同様に無免許事故発生時間帯の割合は、朝から夕方にかけて多いことが分かります。無免許運転が犯罪行為であるという認識が薄く、「捕まらなければいい」と安易に考え、昼間から堂々と運転している結果とも言えます。

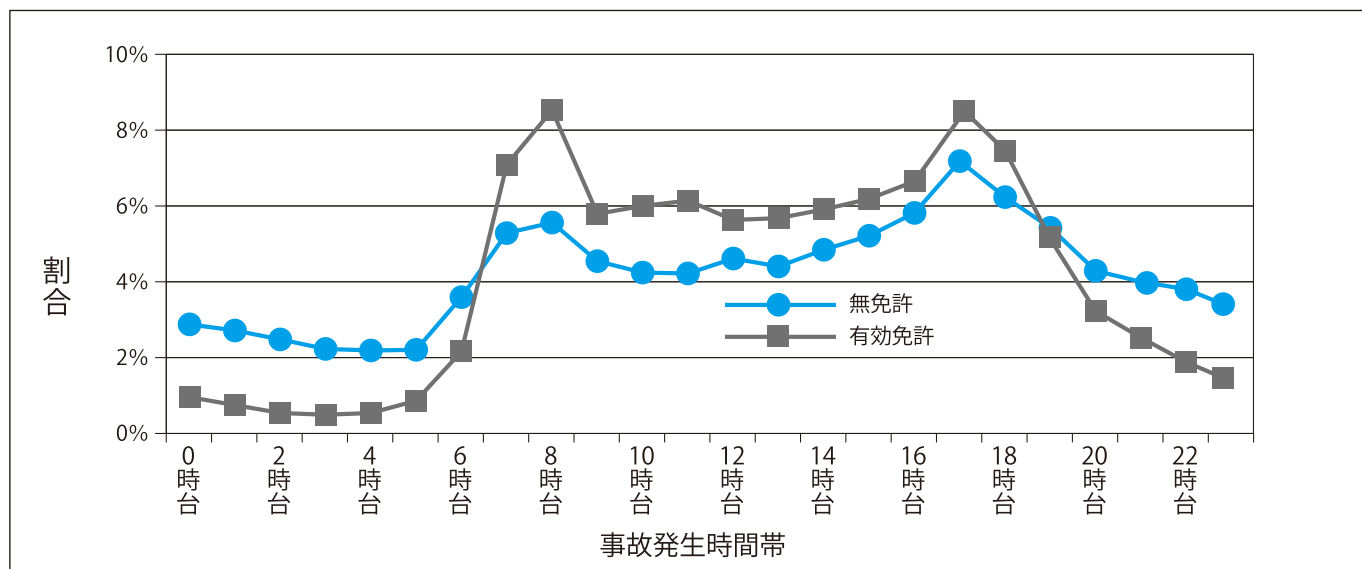


図2 無免許事故発生時間帯の割合

■事故時同乗者がいた割合

事故時に同乗者がいたかどうかの割合を図3に示します。この図のとおり、無免許事故の方が、同乗者のいた割合が多くなっています。それだけ運転者の無免許運転を止められた可能性があります。この中には運転者が無免許だと知らなかった者も含まれますが、運転者が無免許だと知っていて同乗した場合は、無免許運転の幫助罪(ほうじょざい;手を貸す、援助すること。)に問われる可能性があります。

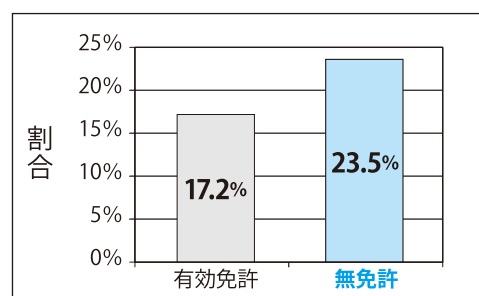


図3 同乗者がいた割合

③ 無免許運転は、重大事故になり易い。

ここでは、無免許運転が種類や年齢、場所を問わず、飲酒事故と同様に重大な結果になり易いことを紹介します。

■無免許の種類を問わず危ない。

無免許運転をする人には、全く運転免許を取得したことが無い人、運転免許を取り消された人、更新手続きをしないで失効した人や運転免許の効力が停止中の人など様々な人がいます。そこで、無免許の種類別はどう危険性が違うのかを図4で見ると、「有効免許」に比べて「狭義の無免許」運転者が事故を起こした場合、重大事故(死亡事故、重傷事故)になる割合が約2.7倍になることが分かります。また、「期限切れ」や「停止中」の運転者が起こした事故も「有効免許」に比べて重大事故になる割合が高くなっています。このことから、無免許運転には色々な種類があり、運転技能のある人、無い人もいますが、無免許の種類を問わず「有効免許」の人と比べ、重大事故に至る危険性が高いと言えます。

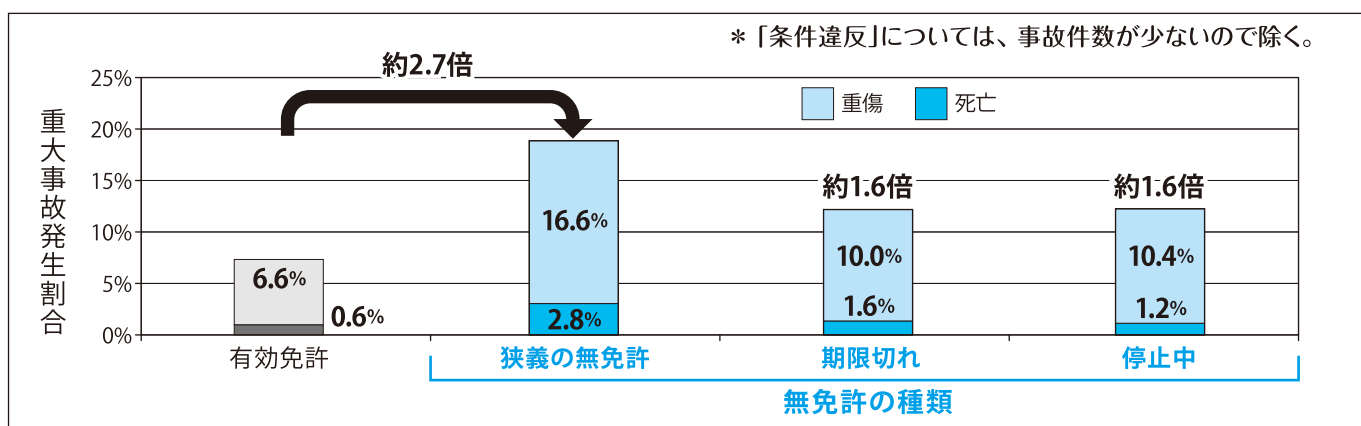


図4 無免許種類別の重大事故発生割合

■年齢を問わず危ない。

無免許運転は、若い者だけが危険なわけではありません。図5の年齢層別の重大事故発生割合を見ると、有効免許に比べて無免許事故では、重大事故になる割合が約1.7～3.4倍となっています。無免許運転の危険性は、若い世代だけの問題ではなく、全世代共通で考えなければならないことが分かります。

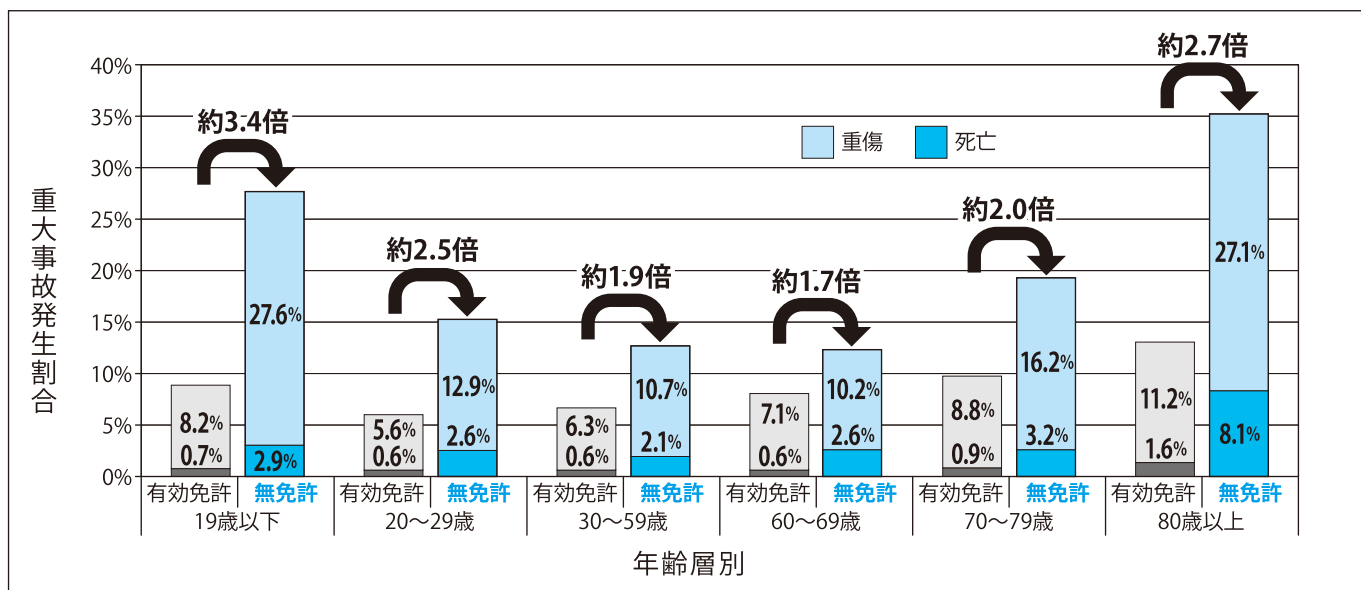


図5 年齢層別の重大事故発生割合

■事故を起こした場所別に見ても危ない。

図6の衝突地点(事故を起こした場所)別の重大事故発生割合を見ると、どの場所で事故を起こしても重大事故発生割合が高くなっていることが分かります。特に衝突地点が路側帯の場合、40.5%が重大事故になっています。他の衝突地点でも、無免許事故の方が重大事故発生割合が高くなっており、どこで事故を起こしても、無免許運転は重大事故になり易いことが分かります。

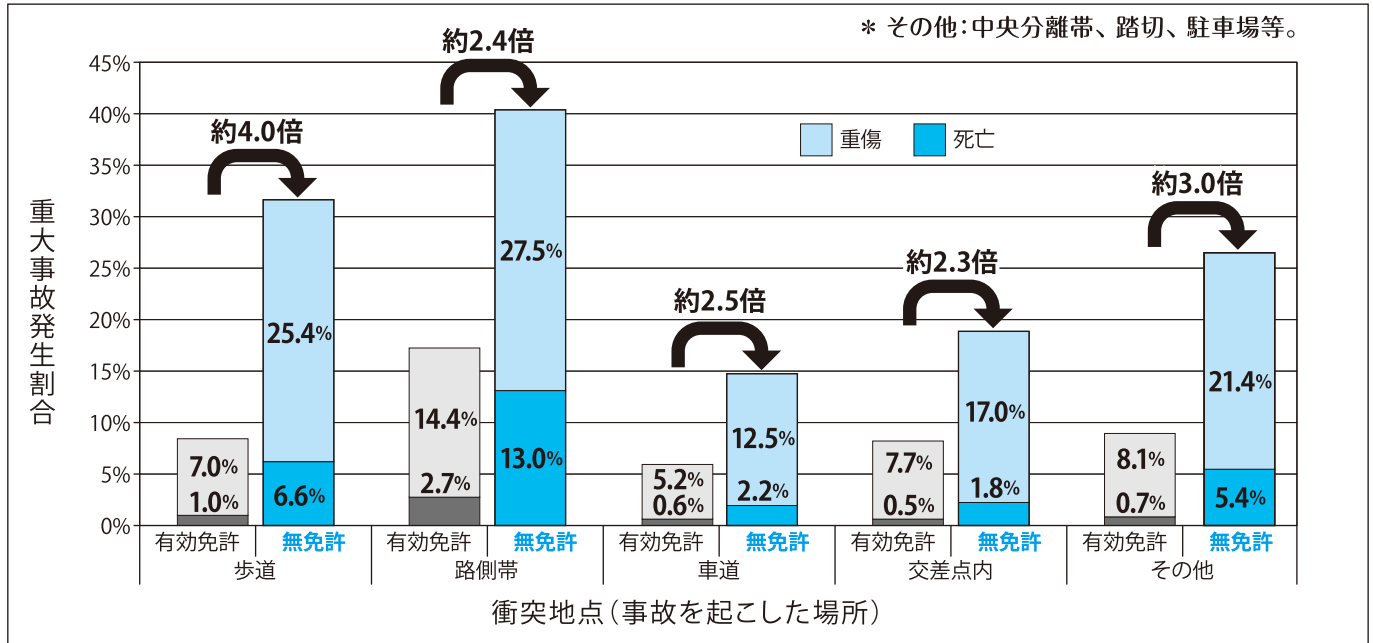


図6 衝突地点別の重大事故発生割合

■飲酒事故と同じくらい危ない。

飲酒事故と聞くと、とても危険なイメージがありますが、無免許事故についてはどうでしょうか？統計から比較してみます。無免許事故と飲酒事故の重大事故発生割合を図7、件数を表2で見ると、飲酒事故の方が死亡事故になる割合が高いですが、重大事故(死亡、重傷事故)としては、有効免許、飲酒有と無免許、飲酒無は、ほぼ同じ割合になり、飲酒事故と比較しても同程度の危険性があると言えます。

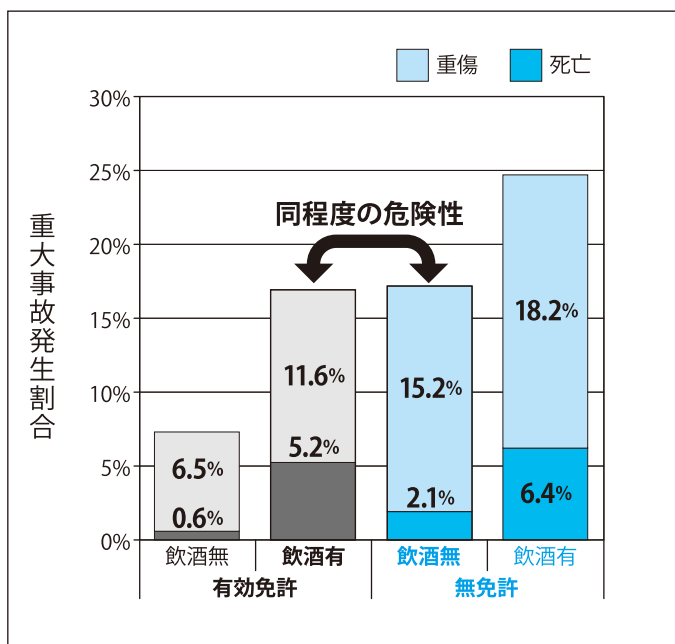


図7 無免許と飲酒の重大事故発生割合比較

表2 無免許と飲酒別の重大事故発生割合

		死亡	重傷	軽傷
有効免許 *1	飲酒無	20,612	228,703	3,255,146
	飲酒有	1,491	3,326	23,847
無免許 *2	飲酒無	278	2,008	10,959
	飲酒有	91	258	1,065

*1 調査不能と対象外 2,705件

*2 調査不能と対象外 157件

④ 無免許運転をする人は、危ない運転をしている。

ここでは、無免許運転がなぜ重大事故になり易いのか、その原因を分析します。

■規制速度を超えた危ない運転をしている。

図8に、事故を起こす直前の速度(危険認知速度※)が規制速度を超えていた割合を示します。この図から、無免許事故は、どの規制速度区分でも速度超過をした人の割合が高くなっていることが分かります。また、図9の事故による車両の損壊程度を見ると、無免許事故の方が速度超過の影響もあって車両の損壊程度が大きくなっており、重大事故につながる危ない運転をしていることが分かります。

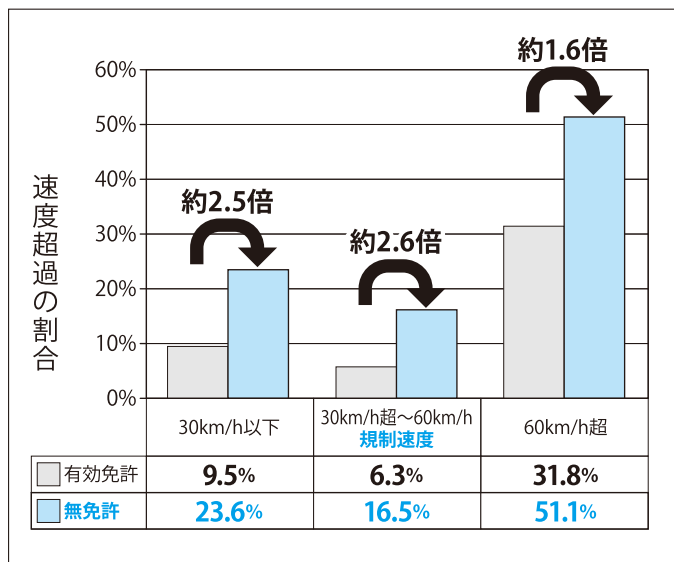


図8 規制速度別危険認知速度の割合

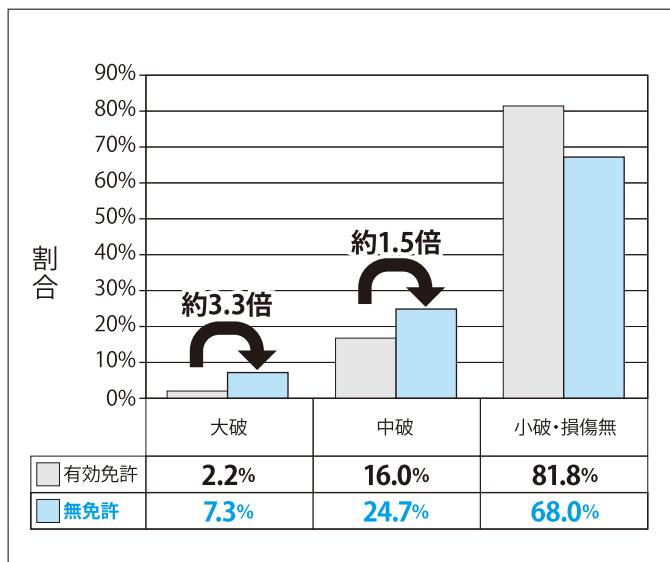


図9 同種別の車両同士の事故における両車両の損壊程度の合計割合
(例 普通車×普通車、原付×原付等)

* 危険認知速度:ブレーキ、ハンドル操作等の事故回避行動をとる直前の速度(事故直前の速度)

* 大破:完全に車両としての機能をなくし、再生不能と判断される程度の壊れ

中破:分解・取替修理、広範囲の板金処理 小破:車体一部の板金、擦った傷

■交通事故につながる危ない交差点関連違反の割合が多い。

交通事故につながる危ない交差点関連の違反として、信号無視、横断歩行者妨害、一時不停止が挙げられます。全事故に占める危ない交差点関連違反の割合を図10で見ると、無免許事故の方が信号無視、一時不停止が原因となって起きた事故の割合が高くなっています。この結果からも無免許運転をする人は、交通事故につながる危ない運転をしている人が多いと言えます。

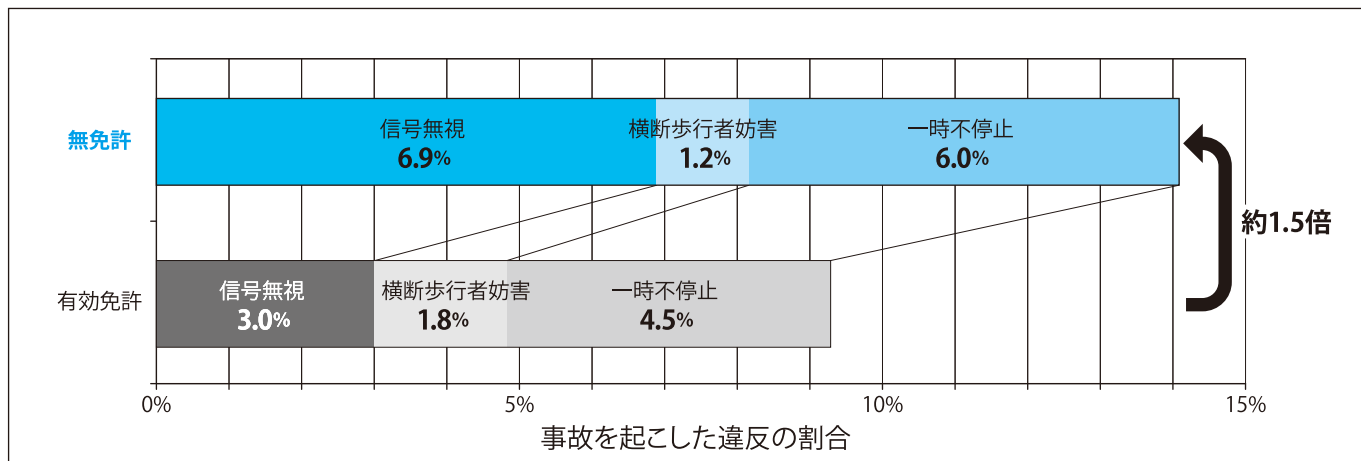


図10 事故を起こした違反の割合

⑤ 無免許運転をする人は一般的に、交通モラルが低い。.....

ここでは、無免許運転をする人の交通モラルについて、別の視点から分析します。

■事故後に逃げる。

図11に、事故を起こした後、負傷者を救護せずに逃げたり(救護義務違反)、警察官に事故の報告をしなかった(報告義務違反)人の割合を示します。無免許事故を起こした人は、無免許が発覚するのを恐れる等の理由で事故後に適切な措置をとらずに逃げてしまい、罪を重ねてしまう割合が高くなっています。

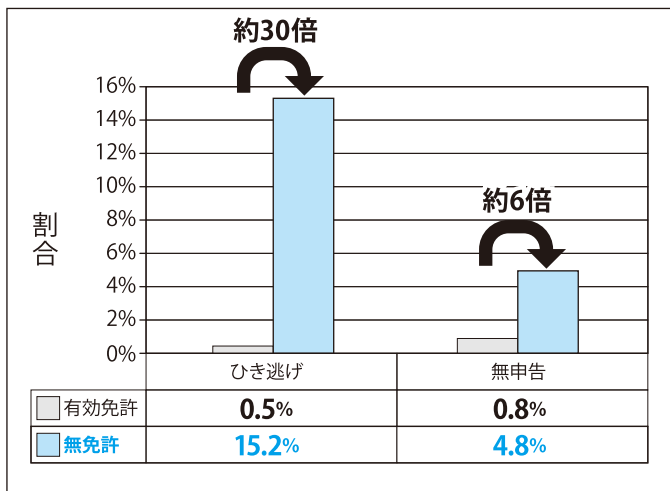


図11 事故後のひき逃げ、無申告の割合

■飲酒運転もしている。

図12に飲酒運転で事故を起こした人の割合を示します。有効免許で事故を起こした人のうち飲酒運転をしていた人の割合は、0.8%なのに対し、無免許事故の場合、約12倍の9.6%の人が飲酒をしています。これから無免許運転者は、交通ルールを全く意識していない人が多いことが分かります。

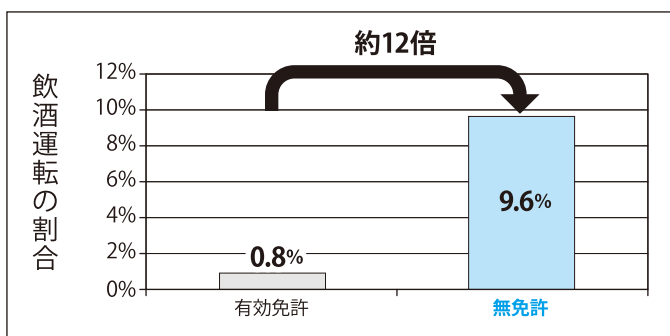


図12 飲酒運転の割合

■シートベルト、ヘルメットを着用していない。

図13、14のシートベルト及びヘルメットの非着用割合を見ると、無免許事故を起こした人の方が着用していない割合が高いことが分かります。また、図14のヘルメット非着用割合を年齢別に見ると、無免許事故を起こした人の方が全年齢層で非着用割合が高くなっており、交通モラルの低い人が多いことが分かります。

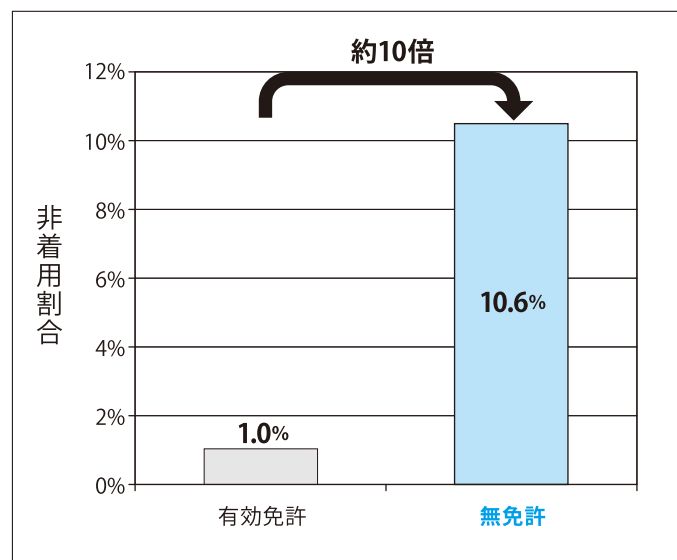


図13 シートベルトの非着用割合

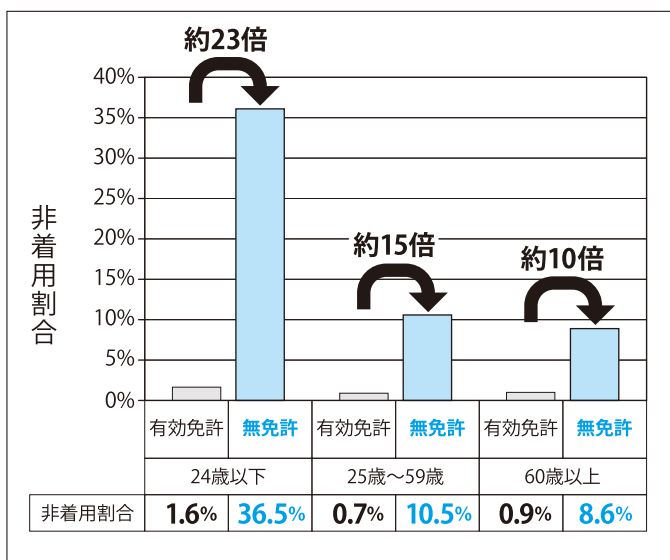


図14 ヘルメットの非着用割合

6 まとめ

無免許運転を安易に考えていませんか？

今回の分析から無免許での事故は、「重大事故(死亡、重傷事故)になり易い」傾向があり、その特徴は、「無免許の種類、年齢を問わず、同じ危険性がある」「速度超過や信号無視など危ない交差点関連の違反をする割合が多い」「無免許運転をする人は、一般的に交通モラルが低い」などが分かりました。これによって、無免許運転が本当に危険なものであることが分かって頂けたと思います。

無免許運転による事故を防止するためには、その行為が非常に危険な行為である事を知らしめると同時に、無免許運転をしようとする人は交通モラルが低いので、無免許運転をさせないようにする必要があります。

将来、運転車両に無免許運転防止システムが導入されるかもしれませんが、それまで各自で今出来ることを確実にやっていきましょう。

- ・ 無免許運転を安易に考えず、重大事故に繋がる危険な行為だとの認識を持ちましょう。
- ・ うっかり失効をしないために自分の運転免許証の有効期限を定期的に確認するなど、交通ルールを守ることに関心を持ちましょう。
- ・ 車に同乗する場合は、運転者の運転免許が有効であるか確認しましょう。
- ・ 家族内や職場で運転免許の確認を定期的に行い、コピーや申告のみでは無く実物で確認しましょう。
- ・ 無免許運転をさせないために、車の鍵をしっかり管理しましょう。

以上の提言の中には、ちょっと抵抗があるというものもありますが、重大事故になり易く、毎年多くの方が亡くなられていることを考え、社会全体で無免許運転をさせない環境を作っていかなければなりません。

(林 祐輔)

- 当センターは、平成4年(1992年)に国家公安委員会、運輸省(当時)、建設省(当時)から設立許可を受けて、公益法人として設立されました。その後平成24年(2012年)4月に公益財団法人に移行しました。我が国で唯一道路交通法の定める「交通事故調査分析センター」の指定を国家公安委員会から受けた調査研究機関であり、交通事故の防止と被害の軽減のための交通事故の調査分析を行っています。
- 当センターが行う交通事故調査は、交通事故の低減を目的とした調査・研究のためのもので、警察の捜査や保険会社の調査とは全く別のものです。
- イタルダ・インフォメーションのバックナンバーは全て下記のウェブサイトに掲載しており、自由にダウンロードできます。また他にも、無料でダウンロードできる統計資料、研究報告書もございますので、御活用下さい。

公益財団法人 交通事故総合分析センター

お問合せ先

●ウェブサイト <http://www.itarda.or.jp/> ●Eメール koho@itarda.or.jp

事務局

〒102-0083
東京都千代田区麹町6-6 麹町東急ビル5階
TEL 03-3515-2525(代) FAX 03-3515-2519

つくば交通事故調査事務所

〒305-0831
茨城県つくば市西大橋641-1 (財)日本自動車研究所内
TEL 029-855-9021 FAX 029-855-9131